二〇二一年六月五日

緑陰に椅子持ち出してジャズフェスタ　凡士

五月雨にひよの鋭声の差しかたむ　む べ

日々届くややの写真や聖五月　はく子

図書館へ回り道する月見草　こすもす

背の順に並ぶ通学麦の風　愛正

梅雨曇もやしの髯根とる無心　む べ

ちょん髷がサングラスして山手線　凡士

吊り橋の谿は濁流梅雨深し　凡士

梅雨晴れ間巫女の緋袴小走りに　なつき

飲み干して水筒を振る夏帽子　よう子

袋掛樹下に一服若夫婦　素秀

降りしきる松葉に埋もる力石　凡士

ナイターに拳上げもすテレビ席　うつぎ

毎週句会秀句・みのる選・二〇二一年六月六日